

## 「書く力」の必要性と評価 --論述試験における諸問題--

### 企画

ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

批判的思考力や課題解決力に代表されるような、いわゆる「考える力」は、中・高等教育で身につけるべき、あるいは社会に出てから必要とされる能力として近年とみに脚光を浴びている。一方で、そうした自らの考えを適切に表現し他者に伝えるスキルとしての「書く力」もまた必要不可欠な能力である。本セッションでは、高校・大学・社会のそれぞれのレベルにおいて「書く力」を身につけることの意義や必要性を明らかにし、その評価法としての論述試験の現状と課題について考える。

### 話題提供

「書くこと」を指導する側の者として

清水 和弘（福岡大学附属大濠高等学校）

「かたち」と「なかみ」から見る書く力

木南 敦（京都大学大学院法学研究科・法学部）

社会人にとっての「書く力」の必要性

早川 信夫（日本放送協会解説主幹）

### 指定討論

宇佐美 慧（日本学術振興会・南カリフォルニア大学）

## 「テスト業務」の現在

### 企画・司会

木村 拓也（九州大学）

テストには「現場」があり、研究開発はもちろんのこと、テストは「現場」での運用によって日々支えられている。また、テスト学会の設立趣意書には、「心理・教育測定技術分野における研究者の育成と IT 時代に対応した多面にわたる研究開発と実用化、そのための産学官による相互の協力関係が不可欠である」との記述がある。本企画セッションでは、そうした相互の協力関係構築のため、研究開発からの情報発信だけではなく、「現場」に即した「現場」からの情報発信を試みる企画セッションの新たな試みとして行う。大学・企業・官庁との相互協力関係構築のため、テスト業務の現在と展望、その人材育成、日々の所感について会員の方々と情報共有することを目的とする。

### 話題提供

#### 日本人事試験研究センターの業務と職員の育成

石山 茂男（公益財団法人日本人事試験研究センター）

#### アドミッションセンターからみたテストの現場

西郡 大（佐賀大学アドミッションセンター）

#### CBT(Computer-based Testing)の実践現場から

ジェームズ・ヘーゲンブッシャー（プロメトリック株式会社）

劉 東岳（プロメトリック株式会社／テスト工学研究所）

#### 大規模コンピュータテストの実施運営における業務と人材

小林 夏子（株式会社教育測定研究所）

### 指定討論

倉元 直樹（東北大学）

## 項目反応理論の現状と今後の展開

企画・司会

中村 知靖（九州大学）

ラザースフェルドの潜在構造分析の影響を受け、ロードが項目反応理論を提案して半世紀以上が経とうとしている。理論面では 20 世紀の間に数多くのモデルや推定法が提案され、項目反応理論は古典的テスト理論に代わるものとして心理測定に関わる研究者の注目を浴び発展してきた。さらに近年、コンピュータの発展や項目反応理論のソフトウェアの流通によって、心理測定に関わる研究者でなくとも、項目反応理論に関するより高度なモデルを利用して、テストを開発することが可能となってきている。そこで、本企画セッションでは、今後の応用可能性の高いと考えられる多値モデル、多次元モデル、潜在ランク理論について第一線の方に現状と今後の展開の可能性について話題提供して頂き、これらモデルについて議論を深める。

話題提供

Generalized partial credit modelの展開性と限界性

－Scoring functionとMultidimensional model－

村木 英治（東北大学教育情報学研究部・教育部，  
株式会社教育測定研究所）

多次元項目反応理論の理論と応用

前川 眞一（東京工業大学大学院社会理工学研究科）

潜在ランク理論

－段階評価のためのテスト標準化理論－

荘島 宏二郎（大学入試センター研究開発部）

指定討論

村上 隆（中京大学）